

森林と大地と人が輝くまち

しもかわ GIKAI

No.193

令和3年

8



6月定例会議「令和3年度下川町一般会計補正予算(第3号)を原案可決」ほか	2～3
5月臨時会議「議会の委任による専決処分事項を原案可決」ほか	4～5
一般質問「下川のここが聞きたい」5名の議員が登壇	6～11
議会及び議員の活動目標を公表します	12～13
議会活動の仕組み⑩、今後の定例会議予定、編集後記ほか	14

表紙の写真 「下川小学校授業参観 1年生体力測定」より

6月定例会議のあらまし

通年議会が5月から始まり、初めての定例会議を令和3年6月14日から16日までの3日間開催しました。

町から、各会計の補正予算のほか、教育長の選任が提案され、全て原案可決しました。

議員提出の意見書4件を可決し、一般質問では5人の議員が町長に考えを問いました。

6月
定例会議
6/14~16

バックアップボイラーとしての温風暖房機を1基増設

上名寄「育苗施設」に設置している木質バイオマスボイラー

◆令和3年度下川町一般会計補正予算(第3号)を原案可決

今

回の補正予算は新型コロナウイルス感染症対策に係る経費、緊急を要する経費、前年度決算見込みに伴うものが計上され、この議案については総務産業常任委員会に付託され審議を行いました。

補正予算の内容として、公共施設等総合管理計画の改定、宅配等事業体制強化のための地域おこし協力隊の増員、育苗施設の暖房機の増設、農産物加工研究所の冷凍機修繕、子育て世帯生活支援特別給付金、スキー場圧雪車の修繕、山びこ学園オンライン会議等対応機器整備、コロナワクチン接種体制強化、多目的宿泊交流施設の外壁補修などに係る経費です。

付託された総務産業常任委員会の質疑では、子育て世帯生活支援特別給付金について、「所得の低い人がこれからも出てくる。上乗せの議論はなかったのか」に対し、「今の時点ではない」と、育苗施設について

「木質バイオマスボイラーは使わないのか」に対し、「平成20年に開始して14年目になるが、これまでも再三修理して使ってきた。ボイラーの製造会社は既に倒産しており、修理の目途がつかっていない。しかし、来年も20万本の育苗が予想され、まずは利用可能な状態にしなければならず、バックアップボイラーとして補正をお願いしたい」との答弁がありました。

総

務産業常任委員会から「公共施設総合管理計画推進事務について、削減の目標値が必要である。下川町にふさわしい管理計画にし

ていくべきである」、「子育て世帯生活支援特別給付金について、国の制度に依存するばかりでなく、さらなる上乗せや町独自の政策を打ち出すことにより、住み続けたいと思われる町にしていく必要がある」、「育苗施設活用推進事業について、木質バイオマスボイラー導入までの経緯を踏まえ、今後施設を継続するためにはどうすべきか、修繕も含め基本的な方針を早急に示すべきである」との意見を付しました。

これらを踏まえ、本会議の採決では全員賛成により原案可決しました。

人事案件



かわしままさよし

教育長に川島政吉氏を選任

下川町教育長の選任について松野尾道雄教育長の任期満了による退任に伴い、川島政吉氏を教育長に任命することに対して議会の同意を求めました。【全員賛成で同意】



【YouTube】QRコードを読み取ると本会議の映像が見られます。



(動画時間) 93分

(動画時間) 32分

6月定例会議の審議議案と議員の賛否（令和3年6月14日～6月16日）

議案の件名・概要・結果		結果	齊藤好信	中田豪之助	大西功	春日隆司	我孫子洋昌	蓑谷春之	小原仁興	近藤八郎	議決日
<input type="checkbox"/>	令和3年度下川町下水道事業特別会計補正予算（第1号） 補正額：5,000万円 補正後の額：3億3,775万円 補正内容：浄化センター汚泥処理設備等の改修に伴う増額 など	可決	○	○	○	○	○	○	○		6月14日
<input type="checkbox"/>	令和3年度下川町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号） 補正額：339万円 補正後の額：1億8,001万円 補正内容：前年度決算見込みに伴う繰越金 など	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	令和3年度下川町介護保険特別会計補正予算（第1号）（保険事業勘定） 補正額：1,842万円 補正後の額：5億2,223万円 補正内容：介護保険システム改修に係る委託料 など	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	令和3年度下川町介護保険特別会計補正予算（第1号）（介護サービス事業勘定） 補正額：0万円 補正後の額：3億5,205万円 補正内容：前年度決算見込みに伴う繰越金 など	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	令和3年度下川町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） 補正額：414万円 補正後の額：5億774万円 補正内容：前年度決算見込みに伴う繰越金 など	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	令和3年度下川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 補正額：0万円 補正後の額：6,514万円 補正内容：前年度決算見込みに伴う繰越金 など	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	人権擁護委員候補者の推薦について（品地 和彦 氏）	適任	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	下川町教育長の選任について（川島 政吉 氏）	同意	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	下川町固定資産評価審査委員会の選任について（佐藤 久美 氏）	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	令和2年度一般財団法人下川町ふるさと開発振興公社事業報告について	報告済	-	-	-	-	-	-	-		
<input type="checkbox"/>	議会の議決に付すべき工事請負契約について （元町団地公営住宅（C棟）建設工事 契約金額：1億4,685万円）	可決	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	令和3年度下川町一般会計補正予算（第3号） 補正額：405万円 補正後の額：51億8,634万円 補正内容：公共施設等総合管理計画推進事務に係る経費 など	〃	○	○	○	○	○	○	○		6月16日
<input type="checkbox"/>	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、 「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	2022年度地方財政の充実・強化を求める意見書	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	〃	○	○	○	○	○	○	○		



ことば

ふ たく 付 託・・・ 本会議で議題となっている案件について、質疑が終了した後さらに詳しく検討を加えるために、所管の常任委員会や特別委員会などに審査を委託することをいいます。

第2回 臨時会 4/26

◆高齢者見守り、持続化給付金、スーパープレミアム商品券事業などを計上した一般会計補正予算を原案可決

4月26日に開催した第2回臨時会では条例案件4件を含む8件が提案され審議を行いました。

「令和3年度下川町一般会計補正予算」は、第1回目の補正予算であり、新型コロナウイルス感染症対策と、社会活動の再開や地域経済の回復などに係るものです。

感染症対策事業として顔認知温度検知システムの整備、認定こども園に網戸設置、加湿器整備、高齢者見守り事業として電話相談などの委託料、学校ICT環境の構築に向けた教師用タブレットなどを整備する予

算が計上されました。

議員からの質疑では「持続化給付金の金額はいくらか」に対し、「件数で30件、また新規創業者は2件と想定している」との答弁。「各々900万円、60万円の枠内のみでの給付か」に対し「場合によってはまた補正を願うこともある」との答弁がありました。その後、採決に移り全員賛成により原案可決しました。



5月 臨時会 5/7

◆議会の委任による専決処分事項を原案可決

5月臨時会議から新しい議会運営の一環として通年制議会を導入しま

した。通年制議会を導入したことにより、定例会が年1回となり、会期が5月から翌年4月までとなりました。これは議会の主体性と機動性を高めていくことで、町民の代表としての負託に添えていくとともに、緊急を要する事態への対応など、効率的かつスピード感を持った議会運営の推進並びに議会及び議員活動の活性化を図ることを目的としています。

また、議案では「地方自治法第180条第1項の規定による議会の委任による専決処分事項の指定について」を議員提案しました。

地方自治法180条第1項の規定により町長において専決処分することができ、緊急性の高いものとして①1件100万円以下の法律上の町の義務に属する損害賠償の額を定めること並びに歳入歳出予算の補正を行うこと②議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例により議決された工事又は製造の請負契約について500万円を超えない範囲

で変更すること③災害、突発的な事故並びに感染症防止対策により応急的に必要となる歳入歳出予算の補正を行うこと④会計年度末における日切れ扱いの地方税法改正に伴う当然必要な条例改正を行うこと⑤解散及び欠員等の事由に基づく選挙費に係る歳入歳出予算の補正をすること、と指定し全員賛成により原案可決しました。

6月 臨時会 6/2

◆ウッドショック緊急対応支援、緊急事態措置協力支援金、指定管理者持続給付金事業を計上した一般会計補正予算を原案可決

第2回目の「令和3年度下川町一般会計補正予算」を6月2日に開催した臨時会議で審議しました。ウッドショック対応緊急

支援事業として、コロナウイルス感染症拡大のため逼迫する木材需要に対応するため必要な機械・設備を整備する事業者を支援、緊急事態宣言により営業時間の短縮などを行う事業者に支援金を給付、コロナウイルス感染症拡大により、売上に大きな影響を受ける宿泊施設の指定管理者に給付金を給付するもので、全員賛成により原案可決しました。



海外の木材相場

※ウッドショックは輸入木材価格の高騰の事を指し、かつてのオイルショックになぞらえて名付けられた言葉



【YouTube】QRコードを読み取ると本会議の映像が見られます。



(動画時間)
81分

第2回臨時会の審議議案と議員の賛否（令和3年4月26日）

議案の件名・概要・結果 町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠		結 果	齊 藤 好 信	中 田 豪 之 助	大 西 功	春 日 隆 司	我 孫 子 洋 昌	蓑 谷 春 之	小 原 仁 興	近 藤 八 郎	議 決 日
<input type="checkbox"/>	下川町課設置条例の全部を改正する条例	可 決	○	○	○	○	○	○	○		※ 4月26日
<input type="checkbox"/>	下川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	下川町税外諸収入金の徴収に関する条例等の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	下川町介護保険条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	議会の議決に付すべき財産の取得について（油圧式ショベル グラップル1台）	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	令和3年度下川町一般会計補正予算（第1号） 補正額：4,679万円 補正後の額：51億4,979万円 補正内容：スーパープレミアム商品券事業に係る補助金 など	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	令和3年度下川町病院事業会計補正予算（第1号） 補正額：資本的支出 755万円 補正後の額：1,858万円 補正内容：全自動分割分包機更新に係る経費	〃	○	○	○	○	○	○	○		
<input type="checkbox"/>	専決処分（第1号）の承認を求めることについて （下川町税条例等の一部を改正する条例）	承 認	○	○	○	○	○	○	○		



(動画時間)
20分

5月臨時会議の審議議案と議員の賛否（令和3年5月7日）

議案の件名・概要・結果 町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠		結 果	齊 藤 好 信	中 田 豪 之 助	大 西 功	春 日 隆 司	我 孫 子 洋 昌	蓑 谷 春 之	小 原 仁 興	近 藤 八 郎	議 決 日
△	地方自治法第180条第1項の規定による議会の委任による専決処分事項の指定について（1件100万円以下の法律上の町の義務に属する損害賠償の額を定めること並びに歳入歳出予算の補正を行うこと（ほか4項目）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	※	5月7日



(動画時間)
12分

6月臨時会議の審議議案と議員の賛否（令和3年6月2日）

議案の件名・概要・結果 町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠		結 果	齊 藤 好 信	中 田 豪 之 助	大 西 功	春 日 隆 司	我 孫 子 洋 昌	蓑 谷 春 之	小 原 仁 興	近 藤 八 郎	議 決 日
<input type="checkbox"/>	令和3年度下川町一般会計補正予算（第2号） 補正額：3,250万円 補正後の額：51億8,229万円 補正内容：ウッドショック対応緊急支援事業に係る補助金 など	可 決	○	○	○	○	○	○	○	※	6月2日
<input type="checkbox"/>	令和2年度下川町繰越明許費繰越計算書について	報告済	-	-	-	-	-	-	-		

※議長は議事の進行を行うため、賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。



ことば

か けつ
可 決・・・ 議案に賛成し決めることをいいます。提出された原案どおりに可決されることを「原案可決」といいます。

下川のここが聞きたい 一般質問

6月定例会議では5名の議員が一般質問を行いました。
町のさまざまな課題等について、議員が町に考えをたずね「一般質問」。
質問方法は『一問一答方式』です。（下記参照）



さいとう よしのぶ
齊藤 好信 議員
(7ページ)



(動画時間)
40分

(質問事項)

- ふるさと納税を活用した子育て支援について



かすが たかし
春日 隆司 議員
(8ページ)



(動画時間)
58分

(質問事項)

- 町政の最重要課題と方策について
- 除雪委託料予算計上等の違法性について



おぼら よしおき
小原 仁興 議員
(9ページ)



(動画時間)
49分

(質問事項)

- ふるさと資料館、ジャンプ台のライトアップについて
- 2拠点生活について



なката ごうのすけ
中田 豪之助 議員
(10ページ)



(動画時間)
34分

(質問事項)

- コロナ禍の産業復興施策について
- G I G Aスクール構想と子ども議会



あびこ ひろまさ
我孫子 洋昌 議員
(11ページ)



(動画時間)
60分

(質問事項)

- 令和3年夏の新型コロナウイルス対策について
- 映画公開に合わせた町の戦略について
- 町内での企業活動を維持拡大させる施策の推進について
- 下川町の子育て環境について

※質問番号順



【YouTube】 QRコードを読み取ると各議員の一般質問の映像が見られます。

- ・ 質問と答弁を要約して掲載しておりますので、詳細につきましては下川町ホームページにある本会議会議録をご覧ください。
- ・ 一般質問を録画したDVDを町民会館図書室で貸し出しを行っています。
- ・ 下川町ホームページ（本会議会議録）はこちらから
※公開には一定の期間を要することがあります。



ことば

いちもんいっとうほうしき
一問一答方式… 1つの質問ごとに理事者が答弁を行います。質問回数に制限はなく、質問時間は一議員1時間を限度としています。



さいとう よしのぶ
齊藤 好信 議員

入学準備金の支援をする考えはないか

町長 教育委員会を含めて検討したい

ふるさと納税を活用した子育て支援について

質問

ふ

ふるさと納税額は、ここ数年2,000万円

円台で推移していますが、昨年度は約3,600万円と若干伸びてきています。先の議会で町長は、目標として1億円を目指して取り組んでいきたいと答弁されましたが、具体的なビジョンを内部で議論されていすか。また、ふるさと納税の使途の内訳を伺います。次に、継続的な子育て支援を行うていくために「子育て支援基金」の創設の考えはないか見解を伺います。

町長 令和2年度のふるさと納税を含めた寄付実績は、3,583万円、1,670件の心温まるご寄付をいただきました。また、返礼品や、送料などの事務経費は1,326万円となつています。寄付金の使途については、寄付者の意向に沿つ

て、一旦基金に積み立て、後年度、町有林の整備、図書購入、スポーツ少年団の活動支援、ジャンプ選手の育成などに有効活用させていただきます。

次に、子育て支援基金の創設については、現在「木質バイオマス削減効果活用基金」などを活用して、保育料、給食費、中学生までの医療費などに充当しています。また、他の基金でも子育て支援に活用が可能であることから、新たな基金の創設は考えていません。目標額1億円は高い目標ですが、新たな取り組みに挑戦しながら汗をかいていきます。

再質問 各基金を精査し目的に見合ったものに統合する考えはありませんか。

副町長 目的が終了した部分については廃止、もしくは統合していきたいと考えています。

再質問 小中学校の入学時

には、様々な準備金がかかりますが、どのくらい子育て世代の経済的負担になっているのか伺います。

教育長 民間保険会社の調査では、小学校入学時で約8万6千円、中学校入学時では約10万円というデータが出ています。

他

再質問

の自治体ではリュックサックのような物を全小学校1年生の入学式に就学支援ということで配っているところがあります。若い子育て世代の方に経済的負担がなるべくかからないように、行政としてもやっている自治体があります。が、御存知でしょうか。

教育長 東神楽町では一定の物を新入学児童に配っているというような状況も聞いています。それも一つの方法だと言えると思います。本町においては「ばくりっこ」などで子供用品の調

達が可能なようなシステムがあります。児童生徒に関わる物品の取り扱いもしておりますので、有効に活用していただくことが大切なのかと思っています。特に、毎年買い換えのないようなものがあると思いますので、そういった物も「ばくりっこ」などを有効に活用していただければと思います。

再質問

子育て世代の経済的負担軽減の為に、入学時の準備金の支援をする考えはないでしょうか。

町長 本町において将来を担う子供たちがしっかりと教育を受ける体制や環境は作るべきと考えているので、議員の提案につきましては、しっかりと教育委員会含めて検討させていただきたいと思えます。

再質問

力強い答弁をいただきました。手厚く支援ができるよう取り組んでいただきたいと思います。

30年ぶりの「人口減少率二桁」打破へ 下川町再構築のため、 町独自の政策プランが必要

町長 プランは必要ない。総合計画の毎年見直しに織り込むことができる



かすが たかし
春日 隆司 議員

町の将来が危うい根拠

質問

職員への訓示で「固定概念の考えでは町の将来は危うい」と述べています。「危うい」と思う根拠は何でしょうか。

町長 政策形成をしつかりしなければ人口動態にも影響するということです。

ふるさと納税

質問

今年、納税額1億円の目標を公言しており、H28年以降取り組みに進展なく先送りしてきています。町長の良心と責任感にゆだねるしかありません。進展しないことへの心理的な抵抗はありませんか。(H27年度3,386万円、R2年度3,580万円)

町長 少しでも納税額が上がるように汗をかいていきます。

再質問 町長から明確な指示が出されていますか。又は、指示は出ているが、業務が多くて手が回らないのでしょうか。

町長 指示を出しています。私の指示をどう受け止めているか聞いていません。私の方からは控えさせていただきます。

福祉政策の重要性

質問

国勢調査(5年間変動)の人口速報値は11・8%減で30年ぶりに二桁の減少となりました。ダム・外国人研修生の増減を加味しても減少幅が大きいです。町長は「福祉へのバラマキ」はいかがなものか、お金がなく「ないそでは振れない」とのスタンスですが、福祉に対する基本的な考えをお聞かせいただけます。

町長 本町の福祉政策は一定程度充実していると思っております。

「幸せ日本」への独自政策必要

質問

本一幸せを目指すなら、日本一の独自施策が必要。世界から目標にされる町を目指すなら世界から目標にされる独自政策が必要。独自政策が打ち出せていませんか。

子育て政策の重要性

質問

町長は、子育てについて「うちの町だけが抜き出る必要はない、政策の横並び

でよい。」との考えですが、その意図は何でしょうか。

町長 下川町だけが突出して何かをやっていくということではなく、互いの市町村がバランスよく進めていくことが必要です。

町民意向の政策反映

質問

H29年の町民意向調査では、子育て、高齢サービスなどが重要であるが、満足度が減少している意見が多くありました。町民意向に沿った政策を打ち出さなければ転出者が増え、よいまちづくりができません。町民意向から今日の人口減少が予見されましたが、意識をされなかったのでしょうか。

町長 死亡者が圧倒的に多い。廃業・事業縮小があります。個人事業が非常に多い。JRが無く非常にイメージダウンで不便。町立病院だけではまかなえない。福祉施設は維持管理費がばう大です。若い人たちの働く場所が非常に少ない。娯楽施設が少ない。映画館もない。情報収集しながら判断していきます。

再質問 H23年からH27年の

出生・死亡の増減▲222人、28年からR2年は▲220人、死亡者が多い訳ではありません。

下川の危うさを脱する 独自政策

質問

根拠に基づき政策をたてる必要があります。下川町の危うさを脱するためにも下川再構築のため「独自政策のプランづくり」が必要ではないですか。

町長 あえて再構築のプランは必要がないと考えています。

再質問 移住者が必要以上に流出しています。定住条件を揃え、住み続けられることが基本です。循環型森林経営で雇用を戻す。結いの森、コモレビ、森林組合周辺へ熱供給。熱エネルギーを確保し通年雇用の産業をつくりだす。5年先の農業のための投資をしていくなど自律プランが必要で

町長 再構築の部分は、総計ローリング(毎年見直し)の中にも織り込んでいくことができます。



お ばら よしおき
小原 仁興 議員

ライトアップの権利を町民に付与できないか

町長 町民運動が基本だと考える

ライトアップについて

質問

① ふるさとタワーのライトアップの基準はありますか。

② ジャンプ台のライトアップは有効かと考えるが検討はないですか。

③ ライトアップをする権利を町民の意思により行うことができないのか伺います。

教育長

① 現在ふるさとタワーのライトアップは点検時の点灯だけとなっています。

② 夏のライトアップについてはいくつかの心配があるため考えていません。点灯に伴う害虫の発生や電力の浪費と考える方もおられるため現在実施する考えはありません。

再質問

本町では各種イベントが軒並み中止となっており、どうしても話題性が乏しい状態におちいっています。例えば、本町でよい

ことがあったときに、特定の時間にライトアップをすることで町民にそのことをお知らせするようなことはできないのでしょうか。

教育長

地域コミュニティが破壊されているのは大きな問題だと思えます。そういった行事を早く回復、または工夫の中で開催したいと考えています。

再質問

寄付によりライトアップをする権利を町民に付与することはできないのでしょうか。町民の思いをライトアップで表現することによって各々がその意味を想像し物語を紡ぐ「よいこと探し」が始まるのではないかと期待します。そのような考えはないですか。

町長

住民運動や民間主導が基本だと考えます。町民からそのような働きかけ、申し入れがあることが必要不可欠であると考えています。

2拠点生活について

質問

① 2拠点生活という居住形態を町長はどのように受け止めていますか。

② 2拠点生活をする中で行政にとって想定されることは何ですか。

③ テレワークを可能とする方が本町で2拠点生活をした場合、本町ではどのような施設が提供できますか。

町長

① 人材不足の解消や関係人口の拡大など地方創生の一役を担うと考えます。

② 行政サービスの制約など課題がありますが、地方創生に資するものと考えます。提供できる施設は「地域間交流施設 森のなかヨックル」や「まちおこしセンター」などの活用が可能であると考えています。

再質問

2拠点生活をしている方がいたとして、ワクチン接種を希望した場合、

住民票がない中で接種することが可能なのか伺います。

保健福祉課長

基本的には住民票を置いている地域が原則ですが、例外的に大学生や単身赴任はその先で接種することが可能です。

再質問

2拠点生活と農業は比較的親和性が高いと考えます。農業研修道場を本旨である新規就農者の枠付けをしつかりと確保しながらも「夏だけ農業」などのニーズに対応した施設となるよう、行政側から監督官庁に提案・働きかけをしながら運用用途を変更することができないのでしょうか。

町長

基本的には農業研修道場は新規就農者に対応した道場であり、現段階では滞在には活用できません。次の展開としてそういうのも模索のひとつではないかと考えています。担当者として協議をしながらしるべき時に回答したいと思えます。

社会形成に参画する資質・能力を確実に するため、子ども議会を開催すべき

町長 人材育成、教育の面では様々な手法がある



なか た ごう の すけ
中田 豪之助 議員

GIGAスクール構想 と子ども議会

質問 町でも生徒・児童に1人1台のタブレットが導入されました。その利用実績はいかがですか。また利用の仕方はどうでしょうか。

教育長 小学校で、1年生と2年生では週2回、3年生から6年生で週1回から週2回、3年生から6年生で週1回。全学年において調べ学習のほか、低学年においては基本操作、中学年においては文書作成、高学年においては動画撮影や児童会資料を作成します。中学校での国語で、全29時間中、各学年3時間、総合的な学習では、1学年で全15時間中11時間、3学年で、全7時間中4時間、数学では、特別支援学級において、全13時間全ての時間調べ学習、まとめ作成、学習教材として利用します。また、タブレットを各家庭に持ち帰ることにつきましては、各家庭で使用す

際のフィルタ機能も併せて検討しているところでです。

再質問 2019年12月に文部科学大臣はGIGAスクール構想の実現について「忘れてはならないことは、ICT環境の整備は手段であり目的ではない」と言っています。

予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実にしていくためには、子ども議会が大変有効と考えます。行政が「子ども議会」あるいは模擬議会を開催するべきです。

教育長 主権者教育、あるいはふるさと学習の充実であるとか、地域課題の研究、これらが持続可能な地域づくりの中で大変重要です。その中で地域課題の研究について、地域の皆さんと学校と一緒に考えて発表するという機会まで出てきました。子ども議会、いわゆる模擬議会といわれるような展開も一つの方法ですし、また、広く住民の方に、その地域課題研究に

ついでの発表を聞いていただく、こういった機会もまた一つの方法です。その方法は、コ口ナ禍を見据え、今後学校の方とも十分に協議をしながら進めていきたいと思えます。

再質問 ふるさと学習、地域課題学習は、学校の先生はじめ、ゲストティーチャーとして加わった地域の大人、行政の方の御苦労があつて実現したと思います。地域の問題点、課題に気が付いた児童生徒はユニークな見方、鋭い切り口を持ち、貴重な力です。

ふるさと納税のお礼状を季節ごとに展開するという話もありました。7月7日から立秋の前までが暑中見舞いの季節だそうです。ぜひ、町長は、ふるさと返礼品の事を触れて、1回下川町に納税してくれた人たちに、映画も始まります、下川町では美味しいフルーツトマトも採れ始めますというような暑中見舞いを出してはどうでしょうか。

その時に、小中学生皆さ

んこういうアイデア募集します、みたいなことは一挙両得で学校の学習になり、有効だと思えます。

町長 大変タイムリーな提案だと思えます。担当者もいろいろと苦労しながら知恵を絞っています。今提案いただいた内容等について、いろいろと学校とも打合せをしながら協議をしたいと思えます。

子ども議会、模擬議会など、各町でも数多く行っていますが、人材育成、教育という面では、様々な手法があると思えます。子供たちと交流し、持っているポテンシャルを引き出していくことを今後も進めたいですし、当然、子ども議会もその方策の一つに入っていると考えています。





あ び こ ひろまさ
我孫子 洋昌 議員

児童生徒へのコロナワクチン接種の方針はあるか

町長 学校での集団接種はしない

児童生徒へのコロナワクチン接種について

質問 若 年者へのコロナワクチン接種方針はありますか。

町長 関係機関と協議を行いつつ、引き続き情報の周知と、安全な実施体制の確保に努めたいと考えます。

再質問 学校を接種会場とする考えはありますか。

町長 医師への確認、学校長への聞き取りの結果、学校での集団接種ではなく、集団接種会場にて個々に接種をしていただく考えです。

映画『リスタート』公開に合わせた町の戦略について

質問 映画を観光・交流の推進、商業振興等につなげる具体的な戦略を伺います。

町長 町では、関係機関を構成員とする実行委員会を組織し、地域をあげて地域活性化に向けた取り組みを展開したいと思えます。

再質問 映画公開の初年度

に大きな手を打つのが大事かと思えます。出演者や映画監督を「ふるさと大使」に

委嘱するとか、制作支援のクラウドファンディングに協賛していただいた方々にもPRを担っていただくことは可能ではありませんか。

政策推進課長 吉本興業を中心に出演者のプロモーション活動が行われ、そこで特産品のPRや、SNSでの発信をする取り組みが行われています。町としてはこの機会に下川町の魅力を発信したいということで、吉本興業へ職員を派遣する予定です。

観光客の受け入れ対策について

質問 映画をきっかけに観光客が町を訪れると思えます。コロナ禍が継続する中、町民の安心安全を確実に守りつつ、来町者を受け入れるための方策を伺います。

町長 町民の感染防止の徹底を最優先に考え、必要な対策を講じるとともに、来

町者にも御協力をいただきながら進めたいと考えます。

町内での企業活動を維持拡大させる施策推進について

質問 町 内事業所の課題を把握して施策を打つ仕組みや体制を持つことが求められています。そこで、実

体経済を把握するために、民間との人事交流や、職員派遣を実施してはいかがでしょうか。

町長 町内事業所の課題解決に即応した施策を展開することは、地域産業の振興にとつて大変重要であると認識しています。職員派遣などは、昨年、アスパラの収穫時期の人材不足に伴う緊急的支援として援農を希望される農家に職員研修として派遣したように、基本的には災害時や非常事態発生時の対応が基本と考えます。

再質問 研修という位置づけであれば、他の事業所に対しても、下川町では様々な業種、事業が行われているということ把握するために、平時においても取り組むべきです。

「フレペ」の閉館日と閉館時刻について

質問 子育て環境の整備に関して、「フレペ」が月曜休館で困るという声があります。対応を行いますか。

建設水道課長 休館日について、指定管理者と協議したいと考えています。

再質問 現在、「フレペ」の閉館時刻は夕方の5時となっていますが、小学生が夏の間、表で遊べる時間は夕方6時までです。閉館時刻についても併せて協議していただきたいと思います。

町長 人員の問題とか、予算とかにも関わってくるわけですが、その中で、地域に合った環境をどのように作っていくかを住民の皆さんの理解をいただき、アイデアもいただながら進めていくことが必要だと思っています。

議会及び議員の活動目標を公表します

議会基本条例では、議会及び議員の活動内容を公表し、議会活動の活性化を図るとともに活動状況を議会白書としてまとめ、自己評価し、その結果を1年ごとに公表することとしています。今回は、議会基本条例に基づき、それぞれの目標を公表します。この目標を基に活動を進め、今後は目標に対しての評価を公表していきます。

議会の活動目標 (目標期間：令和3年4月1日～令和4年4月30日)

- ◎ 広聴広報活動の推進
 - ・ ウェブページ掲載の本会議の整理
 - ・ 議会モニターからの質問に対する回答の実施
 - ・ 議員個人としての取り組み (活動報告書等)
- ◎ 議員活動を身近に感じてもらう取り組み
 - ・ 井戸ばた会議の実施
- ◎ 議会改革並びに議会活動活性化の推進
 - ・ 議会基本条例及び関係条例等の検証、見直し



下川町議会議員
プロフィール

- ・ 氏名 (役職)
- ・ 当選回数
- ・ 所属委員会
- ・ 所属委員会役職

議会の活動目標

(目標期間：令和3年4月1日～令和4年4月30日)

-
-
-

- 執行機関の具体的な政策を最終決定することの責任を果たすため議員間討議並びに広聴広報活動を実施すること (各委員会活動の充実と全員協議会の効果的運営及び議会モニター制度の活用と井戸ばた会議などを積極的に開催)
- 議員の後継者不足等が問われる中、多様な方々が議会活動に興味を示し、その参加意欲が高まるよう定数、報酬のみではなく議会運営の方法等を検討すること (夜間休日開催、リモート会議、子育て応援の制度化)
- 議会基本条例の更なる充実を提案し、議会活性化に努めること (基本条例中で具体化できなかった規程並びに執行機関と未調整の規定等の整備)

こんどう はちろう
近藤 八郎 議長
KONDO, Hachiro
当選回数 2 回
所属委員会
・ なし



さいとう よしのぶ
斉藤 好信 副議長
SAITO, Yoshinobu
当選回数 2 回
所属委員会

- ・ 総務産業常任委員会委員
- ・ 議会運営委員会委員
- ・ 議会広聴広報特別委員会委員

- 人口減少、少子高齢化が顕著な本町であるが、だからこそやれる施策があるのではないかと。高齢者が住み続けられる地域づくりと、子育てがしやすい支援体制、環境づくりである。これらの施策を充実させるための政策提案を行っていく。
- 町と行政を監視、抑制することと並行して、次の世代に残す下川町の将来設計がある。議員間討議を積み重ねるとともに、執行機関と連携し「町民の利益になるのかどうか」を注視して取り組んでいく。

- 町民目線、素人感覚を忘れることなく、議員間討議を深め、町政について監視、批判及び評価を行う。
- 持続的なまちづくりのために、町民の意見の把握、国の内外を問わず先進事例の調査研究に努め、政策提言を行う。
- 農業所得の増大、地域における生活基盤の安定後継者・担い手育成に向けて取り組む。

なかた ごうのすけ
中田 豪之助 議員
NAKATA, Gonosuke
当選回数 1 回
所属委員会

- ・ 総務産業常任委員会委員
- ・ 議会運営委員会副委員長
- ・ 議会広聴広報特別委員会委員長





おおにし いさお
大西 功 議員
OHNISHI, Isao
当選回数 2 回
所属委員会

- ・総務産業常任委員会委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・議会広聴広報特別委員会委員

- 最近の風水害に対応した町民の防災意識の高揚に努めるとともに、防災訓練に参加して住民と課題を共有する。
- 冬の快適な生活を維持するため、高齢者など生活弱者の声を拾い、町の除雪体制の改善を図る。
- 常任委員会活動を活性化するため、委員間議論の適切な采配に務める。

- 町民から負託された責任を深く自覚し、公平性、透明性及び公開性を常に心にとめて、町の発展、町民福祉の増進をめざして活動を行う。
- 勘と経験と思い込みではなく、事実関係を正確に把握したうえで、根拠をもとに論点や争点を明確にして課題に取り組む。
- 下川が下川であり続けるため、町民が住み続けられるため、先人が築いてきた町政が望ましい姿で継承されていくよう活動を行う。
- 小さな声、弱い声、声なき声などを大切に、町政に反映出来るよう活動を行う。

かすが たかし
春日 隆司 議員
KASUGA, Takashi
当選回数 2 回
所属委員会

- ・総務産業常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・議会広聴広報特別委員会委員



あびこ ひろまさ
我孫子 洋昌 議員
ABIKO, Hiromasa
当選回数 2 回
所属委員会

- ・総務産業常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員長
- ・議会広聴広報特別委員会委員

- 町政の現状と課題について、生活の中での小さな「気づき」を把握し、議案審議や条例案の提出に活かす。
- 議論を重ね、様々な方から助言いただき、制定された議会基本条例のもと、文書質問制度などの新たな制度を積極的に活用する。
- いきいきと働く世代が、やりがいと将来への希望を持てるよう、所得の向上、労務環境の改善、事業拡大や経営支援に向けて政策提言を行う。

- 町民の方々がスポーツに親しみ、体力増進を図り、町政に対する課題について積極的に取り組む。
- 高齢化社会の現状を踏まえ、町の高齢者活動推進に多くの方々の考えを町政に反映する。

みのや はるゆき
衰谷 春之 議員
MINOYA, Haruyuki
当選回数 2 回
所属委員会

- ・総務産業常任委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・議会広聴広報特別委員会委員



おばら よしおき
小原 仁興 議員
OBARA, Yoshiaki
当選回数 1 回
所属委員会

- ・総務産業常任委員会副委員長
- ・議会運営委員会委員
- ・議会広聴広報特別委員会副委員長

- 町民の視点を忘れることなく、当たり前湧く疑問があれば、行政にしっかり説明していただく、一人でも多くの町民が行政の取り組みに信頼を得られるよう審議の中で疑念・疑問を取り除いていくよう取り組んでいく。

議会活動の仕組み①

「議会運営委員会」



あ なたが町議会議員に当選したら、議会でも色々な活動をするのでしょか戸惑いを少しでも減らし、存分に力を発揮できるように、議会活動の仕組みを紹介する(不定期連載を始めます。初回は「議会運営委員会」(議運)の紹介です。

町議会議員として任期がスタートすると、それぞれの所属委員会を決めます。前頁の特集記事でお気づきかと思いますが、下川町議会では、総務産業常任委員会、議会運営委員会、そして広聴広報特別委員会に全員所属するので、「この委員会で活動したい」という選択はできません。そして議長もオプザーバーとして参加しているので、実質的には全委員会に全員参加で活動します。

議運の活動は、主な活動として定例会議や臨時会議前の会議で

- ① 会期、日程
- ② 提出議案の取り扱い(本会議又は、総務産業常任委員会に付託するか)
- ③ 意見書や陳情の取り扱いを議論・決定します。

これらが決まると、本会議の冒頭で議運委員長が審議状況を報告します。

意見書が議運で採択されると、議運委員長が意見書の提案を行うことになり、この提案を行うことになり、議運の主な活動ですが、今年度からは新しい活動が始まっており、例えば、

- ① 定例会議のない期間に、議員から提出された文書質問の取り扱い
- ② 「議会白書」の作成に向けた活動

これらも議運としての活動になります。

今まで以上に役割が増しますが、その分、議会活動の活性化を実感できると思います。

議員として議運の場を活かして、議会活動を支える議運の活動にも注目してみてください。

令和3年下川町議会定例会 (会期：令和3年5月～令和4年4月) 今後の定例会議予定

9月定例会議	
9月8日(水)	初日
9月10日(金)	一般質問
9月17日(金)	最終日

12月定例会議	
12月13日(月)	初日
12月15日(水)	一般質問
12月17日(金)	最終日

3月定例会議	
3月7日(月)	初日
3月16日(水)	一般質問
3月18日(金)	最終日

※ 新型コロナウイルス感染症対策等により、日程が変更となる場合があります。

議会事務局の人事異動

令和3年4月1日付で、議会事務局長の異動がありました。



新) 高屋 鋪 勝 英
(異動前：税務住民課主幹)
旧) 古屋 宏 彦
(異動後：農林課長)

編集後記

この夏も様々なイベントの中止、そして自粛や行動制限が続いています。モヤモヤしている方も多いと思います。私もそうです。いつか解除されることを願いつつ、七夕にちなんで、『行きたいところ』、『やりたいこと』のリストをノートやメモ帳に書き留めてみませんか。

『お金があつたら』、『時間があつたら』という前提条件はこの際考えずに、『コロナ禍の間控えていたことが思い浮かぶのでは。』

リストができたなら、あとは実現に向けた準備です。優先度と可能性を考え、最高の計画を立てましょう。この作業が、ため込んだモヤモヤをワクワクに変えてくれると思います。

あとは、いつでも動き出せるよう、健康に気を付けて、このリストを実現できる日を待ち望み、その日が来たら、力強くリストアップしましょう。(我孫子)



議会広聴広報特別委員会 (議会だより編集委員会)

委員長	中 田 豪之助
副委員長	小 原 仁興
委員	あ び 孫 子 洋